



[オンライン鼎談]  
カナダ—ドイツ—日本  
「方法」鼎談  
2000→2001

音楽家  
足立智美

詩人  
松井茂

美術家  
中ザワヒデキ

形式ではなく方法——  
偶然と即興ではなく方法自体を色面に(方法絵画)、  
私情と没入ではなく方法自体を文字列に(方法詩)、  
そして、表情と速度ではなく  
方法自体を振動時間に(方法音楽)。  
昨年の「方法主義宣言」から一年。  
三人の方法主義者たちがいま語る。  
21世紀の方法芸術のさらなる展開。  
ドイツは夜の八時、カナダは正午、  
そして東京は午前四時。  
それではみなさん、グラスを片手に、  
キーボードに向かって、乾杯といきましょうか。

足立 方法主義宣言の起草に立ち会ったのが二〇〇〇年の一月一日です。二〇〇一年一月一日にまる一年ということになります。この一年間は、起草者である中ザワさんの批判はするまいと私は決めていました。

中ザワ 前もってそれは伺っております。足立さんの指摘を待つまでもなく、解決自体が不可能、より正確に言えば解決しようとするこの自体に正当性が見いだせないまま、それでも状況に対する一種の政治として敢行したある種の解決法の提示が方法主義宣言でした。

松井 ただ、宣言せざるをえない状況があったことは確かです。それは一年たとうとするいまでも変わりはせん。さらに、政治行為とは片づけきれない正義が宣言には含まれていません。

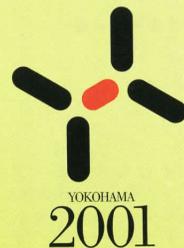
足立 正義を倫理といい直すとして、もちろんそれには同意します。だからこそ起草に立ち会いましたわけです。二十世紀最後の一年間、私

「方法鼎談2000」のリアライゼーション(2000年9月10日、美術家写真右から中ザワヒデキ、松井茂、足立智美)

2000年11月15日現在の出品決定アーティスト

アデル・アブデスメッド、会田誠、赤瀬川原平、秋元きつね、秋田昌美+メルツパウ、バク・イソ、ラデーレ・アジポイエ・バンボワイエ、ローター・バウムガルテン、ジョン・ボック、蔡國強、マウリツィオ・カテラン、チェ・ジョン・ホア、タシタ・ディー、アナ・ドゥバ、マリア・アイヒホルン、オラフ・エリアソン、ペーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ヴァイス、アリス・フラミス、ジャクリーン・フレイザー、ヨナ・フリードマン、藤幡正樹、リアム・ギリック、ドミニク・ゴンザレス=フェレステル、フェリックス・ゴンザレス=トレス、ジョセフ・グリグリー、カティア・グエレロ、ハム・キュン、ヘリド、カールステン・ヘラー、黄永祿(ホアン・ヨンビン)、ピエール・ユイグ、イチハラヒロコ、一橋慧、笠原恵実子、ウィリアム・ケントリッジ、クレー・ジュン・ガ、草間彌生、カン・ソウォン、シポー・リデル、アーナウト・ミック、村岡三郎、マリエル・ノイデカー、ジュン・グエン・ハツシバ、ラダ・マサリ、沖啓介、オノ・ヨーコ、ガブリエル・オロスコ、小沢剛、アレクサンドラ・ラナー、ナウイン・ラワンチャイクン、ジェイソン・ローズ、ピピロッタ・イリスト、塩田千春、アンドレアス・スロミンスキー、曾根裕、杉本博司、東芋、フィオナ・タン、リット・ティラヴァニヤ、ロール・ティシエ、刀根崇高、椿昇+室井尚、都築響一、ウーリ・ツァイグ、セルジオ・ヴェガ、マリケ・ファン・ワーメルダム、フランツ・ウェスト、クシュトフ・ウディチコ、ケリス・ウイン・エヴァンス、やなぎみわ、張洹(ジャン・ホアン)

(現在、71名の決定。最終的には約100名のアーティストが参加する予定です)



横浜トリエンナーレ2001

「メガ・ウェイブ——新たな総合に向けて」

YOKOHAMA 2001:  
International Triennale of Contemporary Art  
MEGA-WAVE Towards a New Synthesis

主催=国際交流基金、横浜市、NHK、朝日新聞社、  
横浜トリエンナーレ組織委員会

後援=外務省、文化庁、神奈川県新聞社

会期=2001年9月2日(日)~11月11日(日)

会場=パシフィコ横浜展示ホール、赤レンガ1号倉庫など

休場日=9月11日(火)、25日(火)、10月9日(火)、23日(火)

開場時間=午前10時~午後6時(金曜日は午後8時まで)

入場料(当日券)=一般2000円、大・専生1500円、

小・中・高生500円など

●チケットは会期中2日間有効(連続しない日も可)。

●前売り券は2001年7月1日(日)~9月1日(土)、

チケットぴあなどの各プレイガイドで発売予定。

[問い合わせ]NTTハローダイヤル:03-3272-8600

[ホームページ]http://www.jpff.go.jp/yt2001/

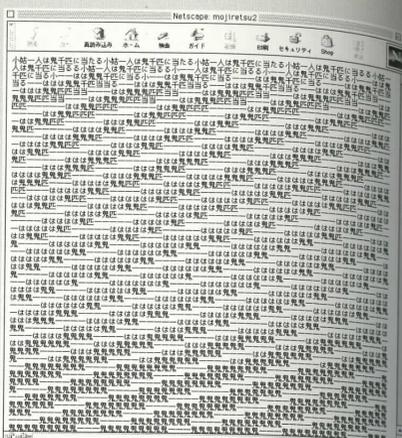
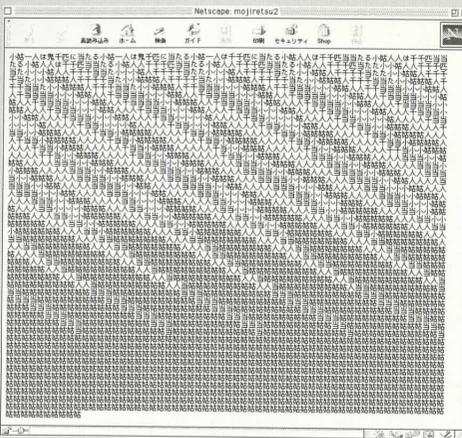
☆特別先行前売り券あり、詳細は166ページをご覧ください



平面と時間







上2点——文字列生成プログラム「2736個の文字列」(http://www5.ocn.ne.jp/~atomo/houhou/work5.html)実行例(1)、実行例(2)。セリを順列置換とは異なる方法で増殖させる。文字列は単旋律のモデル化である。反復を含まないx個の文字からなるセリに一個ずつ文字を足す。その際y番目の文は(y-x)番目あるいは(y-x+1)番目の文字のいずれかである。選択は乱数を用いて決定する。その反復によって均質なセリは偏りを帯びる。JavaScriptによる。

方法音楽第8番その1 作曲：足立智美(2000)

左右  
左右

方法音楽第8番その2 作曲：足立智美(2000)

左右  
右左

これは楽譜である。  
いかなる方向に読まれてもよい。  
演奏者の人数、演奏の持続時間は任意である。  
いかなる発音体を用いても用いなくてもよい。  
作品の著作権は放棄しないが、  
タイトル及び作曲者名を告知の上であれば、自由に演奏してよい。  
できれば作曲者にその旨連絡することが望まれる。

Copyright : ©2000 ADACHI TOMOMI

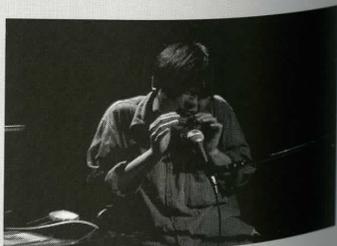
「方法音楽第8番」



**Tomomi Adachi** 1972年金沢生まれ。94年早稲田大学文学部卒業。ヴォイス、コンピュータ、自作楽器のパフォーマーとして、また作曲家として、国内外で活発に活動。



sparkling materialism  
ADACHI TOMOMI  
足立智美ソコCD『ときめきのゆいぶつろん』  
(naya-0001・naya records-tel: 03-3921-4309)



足立智美ソコ・パフォーマンスより

ところで、私には質問があります。  
**松井** 「足立さんの論」というほど個人的でなく、普遍性のある論旨と  
思っただけ聞いておりましたが、どうぞ  
お続けください。  
**足立** 想像すると、どうして主体が  
歴史や未来を語ってはいけないのか  
というような質問でしょうか。  
**中ザワ** 多分そこに行き着く話だ  
と思いますが、順を追うと、ロマン主  
義的のアイロニーを禁忌とらえるか  
仕方ないと放置するかの話です。  
**松井** 中ザワさんの先ほどの言葉だ  
と、「いかんともしがたい」でした。  
**足立** 「いかんともしがたい」だと、  
表向きの苦渋を隠れ蓑に、さらなる  
アイロニーによって表現主体をまた  
もや肯定してしまっているのではない  
ですか。その主体の肯定性こそモダ  
ニズムを、資本主義を肯定してきた  
ものなのです。

**中ザワ** 現代思想の潮流が、モダニ  
ズムや資本主義を肯定してきた主  
体、すなわちコギトの否定に躍起に  
なっていることは、いちおうは知っ  
ているつもりです。逆にいえば、その現  
代思想の潮流に疑問を投げかけて  
いるのです。  
**松井** つまり中ザワさんは、足立さ  
んの論を、コギトを否定してきた現  
代思想の典型とみたらうえて、質問  
しているわけですね。  
**足立** そういうことであるならば、  
いわれるとおり、私の立場である唯  
物論にしても、それが唯一の正義で  
あるという論理付けはなしえませ  
ん。ただ、いわれなき神や君主に権  
威が帰属するよりも、唯物論の方  
が、まだしも正当性をもちうる可能  
性があるとは思っています。  
**中ザワ** 私はべつに唯物論に反対は  
しません。真の唯物論は精神の存  
在の否定さえ行なわない、つまり関  
知しないと考えます。すなわち意図  
的に狭義に解釈されない限り、唯物  
論は対極的な権威主義を肯定する  
ものでももちろんないと同時に、そ  
の否定という結論をただちに演繹す  
るものでもない。  
**松井** ロマン主義的アイロニーによ  
って主体は論理的に肯定され、コギト  
が生起します。その生起したコギト  
に論理的正義がないと同様、そのコ  
ギトの否定にも論理的正義はない

ということですね。  
**足立** そういう意味では、私の「反  
復の遮断」は正義の提示でなく、論  
理的に可能なひとつの方策であり  
ます。「正義でない」とはそういう意  
味です。  
**中ザワ** ええ。少なくとも、足立さ  
んがいわれていることに論理的瑕疵  
がないことはわかります。  
**松井** しかし中ザワさんがいいたい  
ことは、モダニズムや資本主義、さら  
にはそれらを成立せしめた形而上  
学や権威主義も、論理的に否定し  
えないひとつの方策ということにな  
るはずだということではないですか。  
**足立** 知っています。われわれ三人  
が非公式に会うと、いつもそこで意  
見が食い違う。今日は、それも明ら  
かにする日かもしれません。折しも  
ドイツは夜の八時。リハール後の  
ビールが美味しいひとときです。  
**中ザワ** こちらカナダは昼の十二  
時。氷った湖でスケートしました。  
暖を探ろうと、紅茶にブランドーを  
落としたところで。

**松井** 日本は未明の午前四時。先  
ほどまで鍋を囲んで飲んでました  
が、もう一杯くらいお付き合いしま  
すよ。  
**足立・中ザワ・松井** では、乾杯！  
**三——批判と擁護**  
**足立** 宣言を読む限り方法主義者  
はモダニストなので、私も一年ちか  
く、モダニストの「ふり」をしてきま  
した。  
**中ザワ** 起草者であることも大きい  
ですが、私は以前からアンチ・ポ  
ストモダニストとしてモダニストを自  
称しています。  
**松井** 三人のなかではイデオロギ  
的に私が一番「右」だと思います。  
**足立** ポストモダニズムが惹起した  
相対主義的、快楽主義的、多様式主  
義的状况に対して、なんらかの提言  
をしようというのは理解します。そ  
れどころか、そのような状況が生み  
出すソフトな抑圧に対して私自身批  
判的である、それゆえ方法主義に荷  
担したわけです。その際、「論理に従  
う」といういい出しが出てくるのも  
致し方ないかもしれません。  
**中ザワ** しかし、だからといって、ア  
ンチ・ポストモダニズムがそのままモ

# Open Competition Apply Now!

## THE 10TH INTERNATIONAL BIENNIAL PRINT & DRAWING EXHIBITION 2001 R.O.C.



Final Receipt of All Entries by **May 15, 2001**  
Total Purchase Awards: NT\$1,700,000 (About US\$48,500)

For application form, please fax or mail to the following address:

THE 10TH INTERNATIONAL BIENNIAL  
PRINT & DRAWING EXHIBITION : 2001 R.O.C.  
Taipei Fine Arts Museum

181, Chung-Shan North Road, Sec.3, Taipei 104, Taiwan, R.O.C.

Tel 886-2-2595-7656 ext. 202 Fax 886-2-2594-4104

<http://www.tfam.gov.tw> e-mail [tfam01@ms2.hinet.net](mailto:tfam01@ms2.hinet.net)

Sponsor Council for Cultural Affairs, Executive Yuan, R.O.C. Organizer 臺北市立美術館 Taipei Fine Arts Museum

ダニズムに直結はしないだろう。と、  
こういわれたいわけでしょうか？  
**松井** 目に余るポストモダニズムの  
状況を前に、そのままモダニズムに  
直結させるくらいのことではして構わ  
ないのだと思います。  
**足立** そこそ倫理の問題です。ポ  
ストモダニズムの否定はいいとして、  
モダニズムでない場所に帰ってくる  
ことはなんとかできないだろうか。  
たしかにモダニズムの批判は、モダ  
ニズム内部の言葉ではできないこと  
ではあるのですが、そこを安易に帰  
らないという倫理が私はほしい。私  
は相対主義の抑圧に比べれば、論理  
や権威の暴力の方を好みます。しか  
しまた、相対主義のあとに権威主義  
に帰るしかないという考えにも同調  
しかねるのです。

正義のような顔をして立ち現われ  
ているのでしょうか。  
**松井** 現状批判がモダニズム批判と  
して現われることは、それこそロマ  
ン主義、象徴主義、シュルレアリス  
ム、ポストモダニズムの系譜です。そ  
れらをまとめてある種の権威主義  
批判といつてもいいでしょう。だから  
こそ主体が肯定され権威と化して  
しまいうroman主義的アイロニーがア  
イロニーと呼ばれるのです。  
**足立** ではお尋ねしますが、方法主  
義宣言を中ザワさんが出された理  
由は現状批判のためではないのです  
か？ そこで問題にされている現状  
とは、まったくモダニズムと資本主  
義の結果なのではないでしょうか？  
**中ザワ** 一義的にはポストモダニズ  
ムの結果だと考えます。

**松井** しかし宣言文からは、民主主  
義体制と資本主義こそが、現在の放  
縦と怠惰を生んだというふうに読め  
ます。もちろん民主主義体制と資本  
主義はポストモダニズムを支えては  
いますが、むしろモダニズムの原理  
として登場したものと考えるほう  
が理にかなっています。

足立 少なくともポストモダニズム  
は、それがモダニズム批判でしかな  
かったとすれば、よくいわれるよう  
にそれもモダニズムの一種、モダニ  
ズムの延命装置としてはたらくわけ  
です。  
**中ザワ** では逆に聞くと、足立さん  
はモダニズム批判のためにモダニス  
トの「ふり」をする方法主義に荷担、  
部分的にであれ賛同したということ  
でしょうか。  
**松井** 先ほど、相対主義の抑圧に比  
べれば、論理や権威の暴力の方を好  
むといわれましたが、好みが変われ  
ば結論も変わるのでしょうか。  
**足立** そうです。その程度理由で  
す。それを公言しないまま一年近く  
耐えてきた、それをいま明らかにし  
ているわけではないですか。  
**中ザワ** なるほど。やはり、初めか  
ら立ち位置が違っていたわけでは  
ね。私が論理をもち出したのは、古  
典的モダニズムへの復古主義として  
でもあったわけですね。  
**松井** いまようやく明らかになった  
ことがあります。方法主義は足立さ  
んにとつては権威主義批判としての

【特集】2001年・新世紀アーティスト会議